問題 $oxed{1}$ は解答用紙の表に、問題 $oxed{2}$ は裏に解答すること。

 $oxed{1}$  閉区間  $oxed{[-1,1]}$  上の実数値連続関数の作るベクトル空間 V に内積を

$$(f|g) = \int_{-1}^{1} f(t)g(t) dt$$

で定める。V に含まれる関数  $f_0(t)=1,\ f_1(t)=t,\ f_2(t)=t^2\ (-1\le t\le 1)$  にグラム・シュミットの直交化を適用して得られる正規直交系  $e_0,e_1,e_2$  を具体的に求めよ。

グラム・シュミットの直交化を施したものを  $g_0, g_1, g_2$  と置けば、

$$g_0 = f_0, \quad g_1 = f_1 - \frac{(g_0|f_1)}{(g_0|g_0)}g_0, \quad g_2 = f_2 - \frac{(g_0|f_2)}{(g_0|g_0)}g_0 - \frac{(g_1|f_2)}{(g_1|g_1)}g_1$$

である。そこで、

$$(g_0|g_0) = (f_0|f_0) = \int_{-1}^1 dt = 2, \quad (g_0|f_1) = (f_0|f_1) = \int_{-1}^1 t \, dt = 0$$

より、 $g_1=f_1=t$ 。さらに、

$$(g_1|g_1) = \int_{-1}^{1} t^2 dt = \frac{2}{3}, \quad (g_0|f_2) = \int_{-1}^{1} t^2 dt = \frac{2}{3}, \quad (g_1|f_2) = \int_{-1}^{1} t^3 dt = 0$$

より、 $g_2=t^2-rac{1}{3}$  である。最後に  $e_j=g_j/\|g_j\|$  および

$$(g_2|g_2) = \int_{-1}^{1} \left(t^2 - \frac{1}{3}\right)^2 dt = 2 \int_{0}^{1} \left(t^4 - \frac{2}{3}t^2 + \frac{1}{9}\right) dt = \frac{8}{45}$$

より、

$$e_0 = \frac{1}{\sqrt{2}}, \quad e_1 = \sqrt{\frac{3}{2}}t, \quad e_2 = \sqrt{\frac{45}{8}}(t^2 - \frac{1}{3}) = \frac{\sqrt{10}}{4}(3t^2 - 1).$$

$$2$$
 内積空間  $\mathbb{R}^3$  の部分空間  $W=\{egin{pmatrix}x\\y\\z\end{pmatrix}\in\mathbb{R}^3; x-2y+2z=0\}$ 、その直交補空間  $W^\perp$  およびベクトル  $v=\begin{pmatrix}1\\1\\1\end{pmatrix}\in\mathbb{R}^3$  について、以下の問に答えよ。

- (i) v の  $W^{\perp}$  への正射影を求めよ。
- (ii) v の W への正射影を求めよ。

$$\text{(i) }W^\perp=\mathbb{R}\begin{pmatrix}1\\-2\\2\end{pmatrix}\text{ であるから、}W^\perp\text{ の正規直交基底として }e=\frac{1}{3}\begin{pmatrix}1\\-2\\2\end{pmatrix}$$
と取ると、 $v$  の  $W^\perp$  への正射影は、

$$(e|v)e = \left(\frac{1}{3} - \frac{2}{3} + \frac{2}{3}\right)\frac{1}{3}\begin{pmatrix}1\\-2\\2\end{pmatrix} = \frac{1}{9}\begin{pmatrix}1\\-2\\2\end{pmatrix}.$$

(ii) v の W への正射影は、直交分解  $\mathbb{R}^3 = W \oplus W^{\perp}$  と (i) を利用して、

$$v - (e|v)e = \frac{1}{9} \begin{pmatrix} 8\\11\\7 \end{pmatrix}.$$